

時間割コード	G1D11227	開講年度	2026			
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ (A)(初級)				担当教員	大島 香織
英文授業名	Academic English Phase (A)					
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生
講義室	共通教育34講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	大学D P					
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・Academic Reading: 習得したアカデミックレベルの語彙・文法・構文を基に、学術的な英文を読解する。 ・Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につける演習を行いながら、1ないし複数のパラグラフから成る説得力のある英文を作成する。					
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression					
(6)授業計画	1. ガイダンス, 英語らしい文章構造と文化的背景(直訳からの発想転換) 2. Chapter1 Self-Introduction, パラグラフ・ライティングについて 3. 確認テスト1, Chapter2 Apologies 4. 確認テスト2, パラグラフの構造と論理展開 5. Chapter3 Reports, パラフレーズを用いたライティング 6. 確認テスト3, Chapter4 Requests 7. 確認テスト4, わかりやすく伝えるための構成 8. グループワーク<論理的な主張とは? 根拠に基づいた意見> 9. ディベート発表会 10. Chapter5 Declining / Refusals, 相手の心をつかむ導入の技法 11. 確認テスト5, グループワーク<説得力のある主張とは? 効果的なデータの示し方> 12. プレゼン発表会 13. Chapter6 Proposals 14. 確認テスト6, Chapter7 Recommendations / Personal Statements 15. 確認テスト7, Chapter8 Opinions + 授業アンケート 16. 期末テスト これらの授業計画はあくまでも予定であり、様子を見ながら変更することもあります。					
(7)成績評価の方法	・Academic Reading/Academic Writingに関する授業期間中の習熟度を測る課題 (60%) (確認テスト 30% + ライティング課題 30%) ・期末テスト (40%)					
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。					
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・授業内で、予習や復習箇所と、その方法について案内します。					
(10)履修上の注意	・授業(グループワーク等)への積極的な参加、課題への意欲的な取り組みを必要とします。 ・提出物の期限は厳守すること。					
(11)質問,相談への対応	授業開始前、終了後、もしくはメールにて質問や相談に対応します(メールアドレスは、初回授業時にお伝えします)。					
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。					

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	八木橋宏勇&野村佑子&多々良直弘&Ash L. Spreadbury, 英語の思考と型を身に付けるテンプレート・ライティング - English Template Writing Deeper Idea Development, ISBN 978-4-7647-4202-4, 金星堂, 2,300円(税別)
【参考書】	指定しない